
世にも奇妙な最終防衛線

九鬼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

世にも奇妙な最終防衛線

【Nコード】

N9564C

【作者名】

九鬼

【あらすじ】

『世にも奇妙な最前線』に続くシリーズ第2弾です。祖国の危機、最後の壁を任された男達のあり得ない話。

（前書き）

できれば前作も見てください。

ここは最終防衛線。

ここを抜かれると後はない。

隊長「祖国を守るため、お前達の働きに期待している。」

ブライアン「任せてください、隊長!!」

ジャック「国の存亡を賭けた作戦に参加できるとは誇り高きアーミ
ーとして光栄です。」

ここには命を捨てる覚悟を決めた奴らが集っていた。

しかし、隊長は言った…。

隊長「祖国の命運がかかっているとは言っても、お前達はまだ若い、
生き延びろ!!」

ブライアン「た…隊長。」

ジャック「…隊長。」

感動する部下。

隊長「故郷にはお前達を待っているものがあるだろう?」

ブライアン「…はい。俺には300万の借金が待っています。」

ジャック「俺には懲役刑が…。ここにくる前に人を一人殺してしま
って…。」

隊長「やっぱり、お前達に明日を生きる資格はねえ!!」

ここは最終防衛線。
つまり最後の壁…。

隊長「残念だが、うちの隊から一人…、特攻隊員を選出すること
なった。」

ブライアン「そんな…。」

ジャック「…なら…、俺が…。」

隊員「お前達を死なすわけにはいかん!!俺が行く。」

ブライアン「隊長が行くことはないですよ!!俺、さっき300万

の借金って言いましたが、本当は一桁多いんです!!」

ジャック「俺は二桁ほど…。」

隊長「よし!!特攻隊員を一人も排出できそうだ!!特にジャック、お前はヤバイよ。」

最終防衛線。

もはや説明不用。

バババババババツ!!

激しい銃撃戦。

しかし、遂に…。

ジャック「やったっ!!祖国を守ったぞ!!」

喜びを爆発させるジャック。

しかし、ブライアンは逆の反応を見せていた。

ブライアン「ヤベエ！！勝っちまった！！」

隊長「どうした、ブライアン！？俺達は英雄だぞ？」

ブライアン「いや…、酒場のバーテンと賭けをしたんだ。俺達の負けに1000万…。」

ジャック「オイッ！！」

隊長「これで借金が4000万になったな。」

隊長「ブライアン、ジャックはどうした？これから凱旋パレードだぞ。」

ブライアン「さっき殺人容疑で警察に連行されました。」

隊長「お前の借金は？」

ブライアン「敵に機密情報売ってチャラにしました。たぶん、すぐにまた敵が来ますね。」

隊長「やるな…。俺にも一枚咬ませてくれよ。」

ブライアン「もちろん構いませんよ。」

隊長「……。」「

ブライアン「……。」「

隊長「…ツツコミはどうした?」「

ブライアン「ジャックがいまませんからね…。」

《完》

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9564c/>

世にも奇妙な最終防衛線

2011年1月12日20時49分発行